

一般社団法人佐賀青年会議所 2024年度基本方針

国際交流委員会 委員長 弥永 倫季

<p>委員会 基本方針</p>	<p>一般社団法人佐賀青年会議所において、国際交流の必要性を伝え、交流の機会を提供することに挑戦します。</p>
<p>委員会 設置背景</p>	<p>恒久的な世界平和を実現するために、国際的な関心を高め、メンバーに対して、国際の機会(国際交流と国際貢献)を提供する必要があります。</p>
<p>委員会 設置目的</p>	<p>先輩諸兄姉が39年間築いてこられた新営JCとの友好関係に感謝し、交流を次世代に繋げていくために、新営国際青年商會を佐賀青年会議所メンバーに周知させて多くのメンバーを巻き込み、交流の意味と楽しさを知ってもらうことで、今後の相互交流を継続できるようにします。 また、国際交流の楽しさを提供するために、国際交流の場に積極的に参加し、海外NOMとの交流の機会を設けることで、LOMの国際的な関心を強めます。</p>
<p>委員会 事業概要</p>	<p>1.新営国際青年商會との関係交流の強化(通年) 新営国際青年商會の45周年式典をともに祝い地域の人々と交流をするために、多くのメンバーの参加を促し、現地に赴くことで、姉妹関係をより強固にします。 また、互いの友情を育むために、新営国際青年商會を訪問した際に佐賀青年会議所70周年式典の告知を行うことで、多くの新営国際青年商會メンバーが参加し、ともに祝う体制を作ります。</p> <p>◆パートナー 1) 社団法人台南市新営国際青年商會</p> <p>2.国際交流の機会を高める例会の企画・運営(2月・9月) LOM内の国際交流の機運を高め各種交流事業に参加していただくために、国際交流の楽しさや、なぜ国際交流をする必要があるかを周知させる例会を開催し、国際交流の機運を高めます。</p> <p>◆パートナー 1) (公社)日本青年会議所 国際グループ 2) 天吹酒造合資会社 3) 株式会社佐賀銀行</p> <p>3.グローバル化の拡大・促進(通年) 佐賀県とLOMの魅力を発信するために、和の心を持って国際ビジネスマッチングの推進と継続支援を行い日本青年会議所国際グループとの連携を図ることで、ASPACや世界会議で佐賀をPRするブースの展開への参画やNOMとの関わる機会を提供致します。 さらに、各LOMや各地区への全国大会の周知と協力体制を築くために、国際交流や各種大会を通して交流する機会を提供することで、連携できる体制を構築します。</p> <p>◆パートナー 1) (公社)日本青年会議所 国際グループ 2) 各地区・ブロック、LOM・NOM</p>
<p>その他 事業計画</p>	<p>京都会議参加者への支援(1月) ASPAC参加者への支援(6月) 河川清掃の実施(10月) JCI世界会議参加者への支援(11月)</p>
<p>拡大目標</p>	<p>委員会5名(全体30名)</p>